

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和 8年 2月 13日 第31号
発行;校長 村上謙一

【サポーター 熱烈 募集中】

現在31名で活動中です。授業の見守りの他に体育館・運動場の見守り、花壇の花の苗植え、花の種まき、校内の草取りといったサポートもお願いしています。1日10分、月1回程度から活動できます。「地域の未来を担う、地域の宝である子どもたちを、先生だけでなく、地域の大人がみんなで育む」目的は、地域の大人も教育の当事者になる「みんなの学校」づくりです。保護者目線では、わが子のために、わが子の周りの環境を良くする活動です。授業参観ではないので、わが子には関わらせません。お手伝いいただける方は学校までお電話ください。

【交通指導のご協力をお願い】

喫茶店「ひなた」様前交差点における朝の交通指導について、ご助力いただける方を継続募集中です。業務は毎朝 7:45~8:00 の 15 分間、児童の車道横断に合わせて旗で車を止めていただきます。週に 1 回でも可能な方が見えたら学校までお知らせください。現状では4月からこの場所の朝の交通指導はなくなります。

※サポーター、交通指導のご連絡先

一宮西部小学校 ☎93-2007 教頭

【プチプチリサイクル、もっと集めたい！】



4年生がプチプチのリサイクルに取り組んでいます。まだまだ満足いく回収結果が出ていません。そこで、「学びポケット」で各ご家庭にも呼びかけたいと考えた子どもたちが、校長室で構想を語ってくれました。地球にやさしい取組の当事者として、主体的により良い取組を考え続ける「自走した学び手」の姿がここにあります。

【学校どうしの学び合い】



2/6(金)、和歌山県の小学校から3名の先生方がお越しになりました。8年度からチーム担任制を始めるにあたり、本校の取組を参考にされるということです。本校の取組の説明は6年生と5年生の子どもたちにお願しました。

【学校評価アンケートの自由記述から】

学校評価アンケート「自由記述」に寄せられたご心配についてお答えの第4弾、最終回です。今回も一西小の取組を振り返り、深く考える機会をいただきありがとうございました。

★「担任制の時より、子供の先生への関心が薄くなっているように感じる」「クラスのチームワークはどうか」

上記2件の「先生とのつながり」「クラスのつながり」に関するご心配の声をいただきました。

以前にもふれましたが、先生とのマッチングの問題が、子供が感じる「先生とのつながり」に大きく影響します。学年3学級を3人(6年は4人)の先生で等しく担当するチーム担任制では、マッチングがうまくいかなかった時の影響を最小限にできる効果があります。もし、一人の先生とのマッチングに課題があったとしても、他に担当する先生が複数いることで、心の揺れを小さくすることができるからです。実はマッチングが非常にいい場合も注意が必要です。それは過度な依存性の高まりへの懸念です。よい先生＝「解決してくれる先生」から、「子どもの解決を支えて待てる先生」への価値観の転換が求められています。適度な依存は子どもの自立を助けますが、先生に頼りすぎる過度の依存は子供の自律をさまたげ、自立を遅らせます。

「クラスのチームワーク」については、行事に取り組む子どもたちの様子に課題があったのかもしれませんが。私は順番に全教室の給食におじゃまして、子供たちといっしょに食事をとるようにしています。小さい子どもたちが、先生の取りまわしではなく、自分たちで余ったおかずをうまく分け合う姿が見られるなど、自律性のあるチームワークをいたるところで見つけています。高学年のプロジェクト活動では学級にとらわれず、同じ目的を持つ仲間とチームを組んで課題解決を図るチームワークも見られます。子どもたちの様子を保護者の皆様に見ていただく機会は限定的ですので、これらの姿の発信に努めていく必要があるようです。また、本校にはサポーターとして学校教育に関わることができるシステムもあります。自分の子どもを大切にするには、自分の子どもの周りの環境を良くすることです。サポーターとして活動いただければ多様なチームワークの高まりをお感じいただけるでしょう。ぜひ、多くの皆様にご登録をお願いいたします。